

6月議会議運後兼6月市長定例記者発表要旨

と き 平成27年5月26日(火) 10時~11時30分 ところ 庁議室

1. 職員の不祥事再発防止対策について

昨年度発生した本市職員の不祥事を受け、本年2月2日に設置いたしました「佐伯市不祥事再発防止対策検討委員会」において、「職員倫理部会」及び「入札・契約部会」の2つの部会を設け、不祥事の原因究明と再発防止対策の検討を行ってまいりました。

5月18日には「外部有識者委員会」を開催し、この検討結果について御審議いただき、最終的なとりまとめをいたしました。

詳細については、別紙の「佐伯市職員不祥事再発防止に向けて」を御参照いただきたいと思います。また、「職員倫理部会」では人事管理に関して、「入札・契約部会」では随意契約に関して、それぞれ具体的な対策を講じることとしております。

今後は、今回策定した対策の計画に沿って、不祥事の再発防止に向け取り組んでまいります。

2. 6月議会提出議案について

6月2日から26日まで、平成27年第3回佐伯市議会定例会が開催されます。

今回提出する議案は予算議案1件、予算外議案6件であり、このほか報告事項が5件あります。

(1) 予算議案について

議案第69号「平成27年度佐伯市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)」については、歳入歳出予算について、それぞれ233万6,000円を追加計上しています。

今回の補正は、葛^{かづらみなと}港市場の老朽化に伴い、平成26年度の耐震診断・補強計画の調査結果を受け、耐震基準を満たす補強工事等を行うための経費のうち、基本計画及び基本設計の委託に要する経費を計上したものです。

この財源としては、佐伯市地方卸売市場事業特別会計財政調整基金の繰入金を充てることにしています。

この結果、同特別会計の予算総額は、既決予算と合わせ、2,548万4,000円となります。

(2) 予算外議案

予算外議案は6件です。

議案第70号「権利の放棄」については、平成20年に発生した国道326号での光ファイバーケーブル等切断事故の復旧費の損害賠償請求事件について、事故の関係者が死亡し、その相続財産から本市に配当される額が本来支払われるべき額に満たず、今後、差額を回収できる見込みもないため、その債権の一部を放棄しようとするものです。

その他、国の法令改正に伴い条例を一部改正する議案が4件、公有水面埋立てにより新たに生じた土地の確認及び町の区域の変更についての議案が1件となっています。

3. 城下町観光交流館の開館について

5月30日（土）に、「佐伯市城下町観光交流館」が開館します。

本施設は、日本の道百選に選ばれた「歴史と文学のみち」沿いにある旧つたや旅館の建物を保存・活用して整備したもので、観光客が気軽に立ち寄って休憩したり、観光情報を得たりすることができる場の提供を主な目的としています。

開館に伴うスケジュールは以下のとおりです。

〔5月30日（土）〕

9時30分～ 「さいき観光ガイドの会」が、やぐら門から交流館までガイドエスコート（希望者）

10時～ 開館記念式典（観光交流館駐車場にて実施）
式典終了後、施設内見学及び高校生茶道部による野点（200名限定）

13時～ 一般開放
※希望者に「歴史と文学のみち」のガイドを実施

〔5月31日（日）〕

10時～15時 市内各高校茶道部による野点、さいき観光ガイドの会による「歴史と文学のみち」観光ガイドを実施

なお、開館に先立ち、5月27日（水）、10時から14時まで、地元山手区の住民の皆さんと報道関係者を対象とした内覧会を行います。

4. 西鉄グランドホテル・ソラリア西鉄ホテル「大分・佐伯フェア」及び「美食会」の開催について

今年で5回目となる「大分・佐伯フェア」が、6月1日（月）から8月31日（月）まで、福岡市の西鉄グランドホテル及びソラリア西鉄ホテルで開催されます。

期間中は、佐伯の食材をふんだんに使ったフレンチや和食・中華・バイキングなどが両ホテル直営のレストランやバーで提供されます。初日の6月1日には、観光PRや抽選会などのオープニングイベントを西鉄グランドホテルで行う予定です。

また、7月21日（火）には、ソラリア西鉄ホテルで、佐伯の食材をふんだんに使った1日限りの美食会「グルメストーリー」を開催します。これについては、後日参加者を募集し、佐伯発着の無料日帰りバスの運行を予定しています。

4. 佐伯藩史料『^{おんこちしんろく}温故知新録』第11集の販売開始について

本市では、平成7年から、佐伯藩史料『温故知新録』を2年に1巻のペースで刊行しています。

このたび第11集が完成し、6月1日から販売を開始します。

『温故知新録』は、佐伯藩第9代藩主・毛利高誠もうりたかのぶが家老の関谷長熙せきやながひろに編さんを命じたもので、藩の「正史」として高く評価されているものです。本書のように、原文に現代語訳を加えた史料集は全国的にも珍しく、郷土史の研究者はもちろん、一般市民の皆様にも気軽に読んでいただけるものと思います。

第11集には、第7代藩主・高丘たかおかから第8代高標たかすえに家督が継がれる時期の様子や、幕府の米蔵の火の番を拝命するに当たり、他家へ問い合わせた内容を書き留めた記録などが掲載されています。また、付函として、上浦ふずの「福泊浦ふくどまりうら・蒲戸浦かまどうら絵図」と「津井浦絵図」も添付しています。

価格は1冊6,000円（税込み）で、教育委員会社会教育課窓口（まな美1階）、または、佐伯市歴史資料館で販売しています。数に限りがありますので、お早めにお求めいただきたいと思っております。

5. 小野正嗣おのまさつぐ氏の市民栄誉賞受賞決定及び講演会開催について

本年1月15日、第152回芥川賞を受賞された本市蒲江出身の小野正嗣氏に対し、佐伯市民栄誉賞を贈呈し表彰することが決定いたしました。

市民栄誉賞は、芸術、文化、スポーツ等の分野において、国際的に活躍し又は国内で特に優れた業績をあげ、佐伯市民の誇りとなる方にお贈りするものです。これまで、新市においては表彰の事例がなく、小野さんが初めてとなります。

また、7月5日（日）、13時から、佐伯文化会館大ホールで「ものがたりの故郷『さいき』を想う」と題して、小野さんの講演会を開催します。

本講演会は、佐伯鶴城高校同窓会と本市が共催し、市制施行10周年記念事業の一つと位置付けるものです。小野さんの講演会で、広く市民向けに開かれるものは初めてとなりますので、多くの方々にお越しいただきたいと思っております。

なお、市民栄誉賞の表彰式については、現在、講演会開催日の午前中に行う方向で調整中です。

6. 「矢崎総業百年の酒プロジェクト」について

矢崎総業株式会社は、市内堅田で操業する「大分部品株式会社」及び灘小学校跡地を活用して農業展開を行っている「アローファーム大分株式会社」の親会社で、来年、創業75周年を迎えます。これを記念する事業として、佐伯市民、アローファーム大分及び「ぶんご銘醸」（直川）と連携し、「矢崎百年の酒プロジェクト」を実施することになりました。

このプロジェクトは、全国から集まった矢崎グループの従業員が、「米造り体験」、「酒造り体験」、「佐伯クリーンアップ大作戦」の三つで構成する協働イベントに参加するもので、6月から来年3月まで6回にわたって行われます。

「米造り体験」では、アローファーム大分が市内堅田さいのの西野区で運営する約3ヘクタールの田を利用し、地元の皆様のご協力をいただきながら、従業員がヒノヒカリの田植えと稲刈りを体

験します。稲刈りには、「佐伯市少年少女発明クラブ」の小学生も参加する予定です。その後、収穫されたヒノヒカリを原料に、ぶんご銘醸で米焼酎造りを行います。でき上がった焼酎は 25 年間熟成貯蔵され、矢崎総業が 100 周年を迎える 2041 年に開封するとのことです。

また、参加する矢崎グループの従業員は、作業の合間に「佐伯クリーンアップ大作戦」と称した清掃活動を市内各地で実施することになっています。

7. 石破 茂地方創生大臣の講演会について

6月21日（日）、15時から、佐伯文化会館大ホールで、石破 茂地方創生大臣の講演会が行われます。

演題は、「地方から創生する我が国の未来」です。現職の大臣のお話を聞く機会はなかなかないと思いますので、ぜひ多くの方々にご来場いただきたいと思っております。

（詳細は、市報6月1日号でお知らせします。）